

2022年度 方針

2022年4月1日

公益財団法人 全日本ボウリング協会

会長 北川 薫

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、国内事業の大半を予定どおりに遂行することができました。しかしながら国民体育大会、日本スポーツマスターズの開催、国際競技大会への選手派遣といったビッグイベントを実現できませんでした。そのため、特にトップレベルのアスリート競技者にモチベーション維持に苦勞を掛ける状況が続いており忸怩たる思いです。

「ニューノーマル」を前提とした競技活動はすでにボウラーの間で定着し、社会全体での感染の規模と比較して、ボウリングは非常に安全に競技を実施することができているものと思います。これはひとえに、競技に積極性に向き合い続けたボウラーの努力が結実したものであると存じます。

2022年は、ボウラーがボウリングを心から楽しめるよう環境の充実に邁進し、コロナ禍により離れざるを得なかった人々や、これまでボウリングに接点のなかった人々を広く迎え入れることに注力いたすことで、ボウリング界の基盤を万全たるものとしたしたいと考えています。そのために、引き続きスポーツ界、ボウリング界はもちろん、他業界とも幅広く連携し、国内競技統括団体として日本ボウリング界が抱える課題の解決に邁進します。

2022年度 重点目標

- ① 新規ボウラーの開拓と復帰ボウラーの受容
- ② 既存ボウラーの活躍を軸することにより、会員のモチベーションの向上・増強

1. 新しい価値基準を取り入れ日本ボウリング界を活性化する

(1) 感染予防と競技活動の両立

- ・新型コロナウイルス感染症予防策ガイドラインを厳格に適用し、安全な競技活動の展開を図る
- ・JBO（日本ボウリング機構）と連携し、ボウリングの安全性認知向上を図る

(2) 協会主催大会・イベントの積極的発信

- ・web サイト、SNS を活用し大会の映像・情報を積極的に配信し、認知度を向上させる
- ・大会・イベントの内容を見直し、参加モチベーションを向上させる

(3) ボウリング場、業界との連携による「するスポーツ」新形態の開発

- ・拠点となる地域・ボウリング場と選手・クラブとの連携強化を図る
- ・プロ競技者の参加を促進する施策を展開する

(4) 協会・イベント運営における IT・オンラインの導入

- ・協会運營業務の IT 化、講習会や会議等のオンライン化を推進する
- ・イベント運営におけるモバイル機器・アプリの活用を促進する

2. 多様性に応じてボウラーの競技環境を整える

- (1) あらゆる年齢層及び性別ボウラーの受入と活躍の場の設定
 - ・ジュニア、シニア層を対象とした活躍の場を充実させる
 - ・性についての新たな見地に基づき大会様式を検討する
- (2) あらゆる競技レベルのボウラーの受入
 - ・アスリートボウラーが志向するトップクラス大会の権威・名誉を向上させる
 - ・ビギナーボウラーのステップとなる大会・イベントを充実させる
 - ・地域ボウラーの基盤としてのリーグ、競技会の活性化を図る
- (3) パラボウリングの普及促進
 - ・JBO と連携し、パラアスリートボウラーの認知・普及を図る
 - ・JBC 公認競技場におけるパラボウラーへの理解・支援を推進する
- (4) フォロワー、サポーター獲得の推進
 - ・競技を支援する人々を開拓し、競技の場を拡大する
 - ・選手を応援する人々に対して、選手の活躍を披露する方法を開発する
- (5) ガバナンスコードに基づき多様性に基づく理念の浸透
 - ・ガバナンスコードに基づき多様な人材を発掘し協会運営に登用する
 - ・理事会、専門委員会における意見交換を今以上に活発化させ、新たな提案を積極的に採用する
- (6) 直轄ボウリングアリーナの設立推進
 - ・アスリートボウラーの殿堂、聖地となる競技場の創設を目指して活動する

3. アスリートボウラーの活躍を柱としたスポーツボウリングの普及

- (1) 全世代にわたる日本代表レベルアスリートの強化体制の整備と強化
 - ・全日本ナショナルチーム、ユースナショナルチームの強化4ヶ年計画を完成させる
 - ・日本代表チームが世界に羽ばたくための場として、独自のボウリング場を設営する
 - ・ジュニアジャパン選考会・選抜選手強化合宿においてアスリート意識と目標の向上を図る
 - ・シニア選手の継続的な強化（体力づくりを含む）を目的としたシニアジャパン制度の設立を図る
- (2) 個人レベルでの対外的な挑戦
 - ・海外トーナメント、ツアーへの挑戦を促進する制度と環境を充実させる
 - ・会員のプロライセンス取得、プロ競技者の会員受け入れを促進し、競技の活性化を図る
- (3) ボウリング強化メソッドの開発・その全国的な浸透
 - ・日本スポーツ協会公認ボウリングコーチ資格の取得を推進する
 - ・JBC・USBC コーチングマニュアルの普及促進とコーチ有資格者の知識・指導力を向上させる
 - ・JBC アカデミックスタッフによる技術解析と強化策開発を推進する

この方針の実施にあたり、内閣府、総務省、文部科学省、スポーツ庁をはじめとする各省庁、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、一般財団法人地域活性化センター、ボウリング業界、特別協力各社との連携を密にし、役員はもとより会員の皆さんと共に方針の達成に邁進します。